



新宿支部主催 営業統括センター設置に向けた

八王子地本との意見交換会 開催!

6月13日、新宿支部主催「営業統括センター設置に向けた八王子地本との意見交換会」が開催され、八王子地本の仲間と営業統括センターの現状について議論を行いました。

八王子地本管内では、今年3月12日のダイヤ改正ですべての営業職場が営業統括センターとなりましたが、3か月経過した現在も様々な問題が発生しており「融合と連携」という言葉だけが独り歩きしている現実が報告されました。



東地申第64号
申し入れ内容はこちら↑

- 月報や車いす案内などの取り扱い方が統一されておらず、他の駅で担当できない業務が多くある。
- 制服は持ち運ばなければならない。他駅用ロッカーが足りず、寝室で着替えることもある。
- 会社は「改札に立つな」「兼掌よりも企画業務やれ」と駅社員に言うが、乗務員には「券売機案内してろ」と矛盾した指示をおこなっている。
- 勉強会がオンラインで合同となったが、資料を読んで終わりなど、レベルの低下が懸念される。

また、すべての乗務員が複数の営業統括センターに兼務発令となっています。会社は「運輸区社員の意識の醸成」と述べていますが、実際は駅の体制に余裕がなく、乗務員の応援に対応できない現実があります。一部の乗務員職場では、駅の輸送を体験するため“駅輸”なる勤務指定がされるなど、会社がワーキンググループを活用して一方的にルールを策定し、現場が混乱しています。

東京地本管内でも、7月1日に東京・上野・新宿・中野の各営業統括センターが発足しますが、調整中となっている事柄が多く、東地申第64号『「東京支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」に関する申し入れ【東京・上野・新宿・中野営業統括センター】』を行っています。地本は今回の意見交換会の内容をもとに、すべての社員が安全で安心して業務に就けるよう、職場環境の整備や教育体制について団体交渉で求めていくとともに、関係する仲間と議論していきます!



**安全軽視・現場軽視・顧客軽視の経営姿勢を許さず、
安全で安心して働ける職場環境を輸送サービス労組の運動でつくりだそう!**